

=消防署=

1 警防行政状況

緊急出動状況

消防部隊の緊急出動状況は、637件で、昨年度と比較して881件増加している。

1日当たりの平均出動件数は23.7件となっている。また、火災、救急及び救助出動以外に、1,561件の緊急出動をしている。

緊急出動を種別ごとに見ると、救急出動が6,814件(78.9%)と最も多く、次いで、救急支援出動が1,481件(17.2%)、救助出動が140件(1.6%)の順となっている。

種別		火災	救急	救助	警戒	救急支援	合計	比率
本署	令和3年度	39	1,513	69	32	413	2,066	26.6%
	令和4年度	44	1,697	79	27	412	2,259	26.1%
稲沢東分署	令和3年度	31	2,717	32	41	581	3,402	43.9%
	令和4年度	40	3,053	38	21	637	3,789	43.9%
祖父江分署	令和3年度	16	841	9	25	183	1,074	13.8%
	令和4年度	12	977	11	15	185	1,200	13.9%
平和分署	令和3年度	21	939	10	21	223	1,214	15.7%
	令和4年度	26	1,087	12	17	247	1,389	16.1%
合計	令和3年度	107	6,010	120	119	1,400	7,756	100.0%
	比率(%)	1.4	77.5	1.5	1.5	18.1		
	令和4年度	122	6,814	140	80	1,481	8,637	100.0%
	比率(%)	1.4	78.9	1.6	0.9	17.2		

(注) 1 「警戒出動」とは、ガス漏れ、怪煙、即時通報、漏油、障害物及びその他の災害の発生が予想されるときに出動するものをいう。

2 「救急支援出動」とは、次の場合に救急隊の活動を支援するために出動するものをいう。

- (1) 119番通報時に心肺停止状態等で、高度な救命処置が必要な場合
- (2) 階段や道路等が狭く、救護・搬送に時間がかかる場合
- (3) 事故現場や交通量の多い幹線道路で、二次災害の危険がある場合

## 2 訓練等の実施状況

### (1) 普通救命講習会

(単位：人)

区分	内訳 回数	受講者数			指導 職員
		計	男	女	
定期講習（毎月19日）	25回	123	57	66	27
随時講習	27回	326	184	142	42
合計	52回	449	241	208	69

### (2) 自主防災会・学校・事業所等への訓練指導

(単位：人)

機関名	実施回数	参加人員	指導職員
自主防災会	26回	1,388	82
教育機関（学校・保育園等）	77回	11,447	219
事業所	80回	4,259	242
合計	183回	17,094	543

### (3) 消防団訓練

(単位：人)

実施回数	参加人員	指導職員
77回	1,009	96

### (4) 国府宮難追神事警備

実施日	令和5年2月3日（金）
消防詰所	稲沢市消防本部庁舎3階
警備延べ人員	151人
搬送人員	25人

### (5) 合同訓練

#### ア 尾張西北部地区消防合同水難救助訓練

実施日	令和4年6月1日（水）
実施場所	稲沢市祖父江町四貫地内（木曾川馬飼大橋上流左岸）
参加機関	稲沢市・一宮市・犬山市・江南市・岩倉市・丹羽広域（組）・西春日井広域（組）・名古屋市消防局消防航空隊
参加人員	57人（うち稲沢市消防本部7人）

イ 尾張西北部地区消防合同訓練

実 施 日	令和4年11月11日(金)
実 施 場 所	森永乳業株式会社中京工場(江南市中奈良町一ツ目1番地)
参 加 機 関	稲沢市・一宮市・江南市・岩倉市・西春日井広域(組)・丹羽広域(組)・森永乳業株式会社中京工場
参 加 人 員	約135人(うち稲沢市消防本部4人)

ウ 名古屋市消防局消防航空隊との合同訓練

実 施 日	令和4年11月17日(木)
実 施 場 所	稲沢市陸上競技場
参 加 機 関	稲沢市・名古屋市消防局消防航空隊
参 加 人 員	20人(うち稲沢市消防本部14人)

3 消防水利の調査状況

現 有 水 利 数	2,164基	調 査 延 べ 水 利 数	4,328基
調 査 回 数	284回	調 査 延 べ 人 員	866人

4 119番受信状況

(単位:件)

区 分	火 災	救 急	救 助	合 計
1 1 9	42	3,247	10	3,299
携 帯 1 1 9	102	3,294	49	3,445
合 計	144	6,541	59	6,744